

～ 健苗育成で、収量確保と品質向上を ～

1 育苗計画 (営農のてびき p.14)

- (1) 下表を参考に播種～田植えまでの日数を守り、**老化苗とならない**育苗計画をたてましょう。
 ※近年の育苗期間は高温傾向であり、軟弱徒長苗になりやすいので注意が必要です！

品 種	浸種	播種	田植え	備考
五百万石・雄山錦	3月29日	4月14日	5月5日	播種～田植え：21日間
山田錦・新大正糯	4月7日	4月21日	5月10日	
コシヒカリ てんこもり	4月7日	4月21日	5月10日※	・山田錦はコシヒカリの前に 田植えをする。
	4月13日	4月26日	5月15日	

※中山間地域や初期茎数が確保しにくい地域では、コシヒカリの田植えを5月10日頃としましょう。

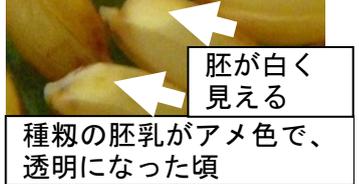
2 浸種 (営農のてびき p.16～17)

- (1) 種籾量は網袋の半分以下とし、水量は種籾の2倍以上としましょう。
 (2) 浸種時の**水温は10～15℃を確保**しましょう。発芽の不揃い(バラツキ)を防ぐため、**特に浸種初日は、12.5℃を目安に**水温を保ちましょう。
 ※気温が低い場合は、育苗室や育苗器の利用や差し湯をする等、適正な水温を確保しましょう。
 気温が高い場合は、「日陰におく」「水のかけ流し」「頻繁な水の入れ替え」を行いましょう。
 (3) 水道水などを使用し、1～2日毎に、水の入れ替えを行いましょう。
 また、水の交換時には、種籾袋内を攪拌し、上下を入れ替えましょう。

酸素不足にならないように

品 種	水温	浸種日数	目標積算温度
五百万石・雄山錦	10℃	13～15日間	150℃以上
てんこもり		12日間	140℃以上
コシヒカリ 山田錦・新大正糯	15℃	10日間	120℃以上

<浸種完了の目安>



昨年と比べ休眠がやや深いため、平年より浸種日数を1～2日程度長くしましょう

3 催芽 ～作業前には必ず営農のてびき (p.16～17) を確認しましょう～

- (1) 催芽時間は品種や浸種条件により、ばらつきがあります。
必ず発芽状態を確認し、適正な芽の長さにして下さい。

<催芽完了の目安>

目 安	温度	30℃
	時間	16～24時間



化学農薬
消毒の場合

食酢処理 (温湯・タフブロック)
の場合はやや短めで

- (2) 循環式催芽機を使用する場合は、催芽時に食酢液(酸度0.1%)で処理しましょう。
※24時間以上かかる場合は、真水に入れ替えて下さい。
 (3) 生物農薬(タフブロック)消毒の場合は、催芽時にタフブロック200倍液と食酢液(酸度0.1%)で処理しましょう。
 (4) 化学農薬(モミガードC水和剤)消毒の場合は、防除効果を高めるため、**浸漬処理時(消毒済種子は浸種開始時)は12.5℃を目安に**水温を保ちましょう。また、催芽は蒸気式の育苗室や育苗器で行いましょう。
※発芽率を確保するため、もち米は必ず温湯消毒を避け、「生物農薬(タフブロック)+食酢」または「化学農薬(モミガードC水和剤)」で処理しましょう。

JAなんとメールマガジンの登録はこちらから
 営農情報をスピーディーにキャッチ!



お問い合わせは、JAなんと営農部(62-0261)または
 砺波農林振興センター南砺班(32-8147)へ